



ワイヤレスストリーミングスピーカー
Wireless Streaming Speaker
无线流媒体扬声器

WX-051

安全上のご注意
Safety Brochure
安全手冊
안전 지침서

JA EN ZH KO

JTK

日本語

English

中文

한국어

musicCast

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

記号表示について

この機器や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号



禁止を示す記号



行為を指示する記号



- 点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造によりお客さまがけがをしたり機器が故障したりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

電源 / 電源コード



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ストーブなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げたり、加工しない
- 傷つけない
- 重いものをのせない

芯線がむき出しのまま使用すると、感電や火災の原因になります。



禁止

落雷のおそれがあるときは、電源プラグやコードに触らない。感電の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの機器に使用しない。

火災、やけど、または故障の原因になります。



必ず実行

電源プラグを定期的に確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。

火災または感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。



必ず実行

雷が鳴り出したら、早めに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

火災や故障の原因になります。



必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。

分解禁止



禁止

この機器を分解したり改造したりしない。

火災、感電、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

水に注意



禁止

- この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。また、ぬれた手でこの機器を扱わない。

感電や故障の原因になります。

火に注意



禁止

この機器の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

お手入れ



禁止

清掃用や潤滑用などの可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない。

可燃性ガスが本機の内部に留まり、爆発や火災が発生するおそれがあります。

ワイヤレス機器



禁止

医療機器の近くなど電波の使用が制限された区域で使用しない。

この機器が発する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から15cm以内で使用しない。

この機器が発する電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えるおそれがあります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 電源コード / プラグが傷んだ場合
 - 機器から異常なおいや煙が出た場合
 - 機器の内部に異物が入った場合
 - 使用中に音が出なくなった場合
 - 機器に亀裂、破損がある場合
- そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしないように注意する。落とすなどして破損したおそれのある場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

電源 / 電源コード



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しない。

火災、感電、やけどの原因になります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積したりして火災ややけどの原因になります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所に置かない。

この機器が落下や転倒して、けがや故障の原因になります。



禁止

この機器を設置する際は、

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたんやカーペットなどの上には設置しない。
- 天面以外を上にして設置しない。
- 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。

機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。本機の周囲に上 5cm、左右 5cm、背面 5cm 以上のスペースを確保してください。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

この機器を移動する前に、必ず電源スイッチを切り、接続ケーブルをすべて外す。

ケーブルを傷めたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

聴覚障害



禁止

大きな音量で長時間この機器を使用しない。

聴覚障害の原因になります。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。



必ず実行

• ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行う。

• 電源を入れたり切ったりする前に、必ずこの機器の音量（ボリューム）を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、この機器をいつも最後に入れる。電源を切るときは、この機器を最初に切る。聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。

お手入れ



必ず実行

お手入れをする前に、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

以下のことをしない。

- この機器の上に乗る。
 - この機器の上に重いものを載せる。
 - この機器を重ねて置く。
 - ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加える。
- けがをしたり、この機器が破損したりする原因になります。



禁止

接続されたケーブルを引っ張らない。

接続されたケーブルを引っ張ると、機器が破損したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

音がはずんだ状態ではこの機器を使用しない。機器が発熱し、火災の原因になることがあります。

注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。

電源 / 電源コード

この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。⓪ (スタンバイ/オン) スイッチを切った状態 (電源ランプが消えている) でも微電流が流れています。

設置

ラジオや携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはラジオなどに雑音が生じる原因になります。

直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。

他の電気製品とはできるだけ離して設置してください。この機器はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

無線機能を使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

この機器上に磁気の影響を受けるもの (時計、キャッシュカードなど) を置かないでください。

接続

外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。

説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因となります。

業務用機器とは接続しないでください。デジタルオーディオインターフェース規格は、民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されていません。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなく、スピーカーを傷める原因になります。

取り扱い

この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色 / 変質する原因になります。

機器の周囲温度が極端に変化して (機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。

お手入れ

手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナーなどの薬剤、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色 / 変質する原因になります。

お知らせ

製品に搭載されている機能とデータに関するお知らせ

- この製品は、日本国内専用です。
- この製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

無線機能に関するお知らせ

(Bluetooth)

2.4FH5/XX4

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」：変調方式は周波数ホッピング (FH-SS 方式)
「1」：想定干渉距離が 10 m 以内
■■■■ ■■■■ ■■■■：全帯域を使用し、かつ
移動体識別装置の帯域を回避可能

(Wi-Fi)

2.4 DS/OF 4

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「DS/OF」：変調方式は DS-SS および OFDM 方式
「4」：想定干渉距離が 40 m 以内
■■■■ ■■■■ ■■■■：全帯域を使用し、かつ
移動体識別装置の帯域を回避可能

5GHz 帯周波数範囲と対応チャンネル

5.2GHz 帯 (W52) :
5180 ~ 5240MHz (36ch, 40ch, 44ch, 48ch)
5.3GHz 帯 (W53) :
5260 ~ 5320MHz (52ch, 56ch, 60ch, 64ch)
5.6GHz 帯 (W56) :
5500 ~ 5700MHz (100ch, 104ch, 108ch,
112ch, 116ch, 120ch, 124ch, 128ch, 132ch,
136ch, 140ch)

5.2GHz 帯 (W52) と 5.3GHz 帯 (W53) は、電波法により屋内での使用に限られています。

本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載していません。

この製品の銘板表示は本体底面にあります。

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

PRECAUTIONS

PLEASE READ CAREFULLY BEFORE USE. BE SURE TO FOLLOW THESE INSTRUCTIONS.

The precautions listed below are to prevent risk of harm to the user and others, as well as to prevent property damage, and to help the user use this unit properly and safely. Be sure to follow these instructions.

After reading this manual, be sure to keep it in a safe place where it can be referenced at any time.

- Be sure to request inspections or repairs from the dealer where you purchased the unit or from qualified Yamaha service personnel.
- Yamaha cannot be held responsible for injury to you or damage of the products caused by improper use or modifications to the unit.
- This product is for ordinary homes. Do not use for applications requiring high reliability, such as managing lives, health care or high-value assets.



WARNING

This content indicates “risk of serious injury or death.”

Power supply/power cord

- Do not do anything that could damage the power cord.
 - Do not place it near a heater.
 - Do not bend it excessively or alter it.
 - Do not scratch it.
 - Do not place it under a heavy object.Using the power cord with the core of the cord exposed could cause electric shocks or a fire.
- Do not touch the power plug or cord if there is a chance of lightning. Failure to observe this may cause electric shocks.
- Use this unit with the power supply voltage printed on it. Failure to connect to an appropriate AC outlet may cause a fire, electric shocks, or malfunctions.
- Be sure to use the supplied power cord. Also, do not use the supplied power cord for other units. Failure to observe the above may cause a fire, burns, or malfunctions.
- Check the electric plug periodically and remove any dirt or dust which may have accumulated on it. Failure to observe this may cause a fire or electric shocks.
- When setting up the unit, make sure that the AC outlet you are using is easily accessible. If some trouble or malfunction occurs, immediately turn off the power switch and disconnect the plug from the AC outlet. Even when the power switch is turned off, as long as the power cord is not unplugged from the wall AC outlet, the unit will not be disconnected from the power source.
- If you hear thunder or suspect approaching lightning, quickly turn off the power switch and pull the power plug from the AC outlet. Failure to observe this may cause a fire or malfunctions.
- If not using the unit for long periods of time, be sure to pull the power plug from the AC outlet. Failure to observe this may cause a fire or malfunctions.

Do not disassemble

- Do not disassemble or modify this unit. Failure to observe this may cause a fire, electric shocks, injury, or malfunctions. If you notice any irregularities, be sure to request an inspection or repair from the dealer where you purchased the unit or from qualified Yamaha service personnel.

Water warning

- Do not expose the unit to rain, use it near water or in damp or wet conditions, or place on it any containers (such as vases, bottles or glasses) containing liquids which might spill into any openings or places where water may drop. A liquid such as water getting into the unit may cause a fire, electric shocks, or malfunctions. If any liquid such as water seeps into the device, turn off the power immediately and unplug the power cord from the AC outlet. Then, request an inspection from the dealer where you purchased the unit or from qualified Yamaha service personnel.
- Never insert or remove an electric plug with wet hands. Do not handle this unit with wet hands. Failure to observe this may cause electric shocks or malfunctions.

Fire warning

- Do not place any burning items or open flames near the unit, since they may cause a fire.

Maintenance and care

- Do not use aerosols or spray-type chemicals that contain combustible gas for cleaning or lubrication. The combustible gas will remain inside the unit, which may cause explosion or fire.

Wireless unit

- Do not use this unit near medical devices or inside medical facilities. Radio waves from this unit may affect electro-medical devices.
- Do not use this unit within 15 cm (6 in) of persons with a heart

pacemaker implant or a defibrillator implant. Radio waves from this unit may affect electro-medical devices, such as a heart pacemaker implant or defibrillator implant.

If you notice any abnormality

- If any of the following abnormalities occur, immediately turn off the power and disconnect the power plug.
 - The power cord/plug is damaged.
 - An unusual smell or smoke is emitted from the unit.
 - Foreign material gets into the interior of the unit.
 - There is a loss of sound during use.
 - There is a crack or damage in the unit.Continued use could cause electric shocks, a fire, or malfunctions. Immediately request an inspection or repair from the dealer where you purchased the unit or from qualified Yamaha service personnel.
- Be careful not to drop or apply strong impact to this unit. If you suspect the unit may have been damaged due to dropping or impact, immediately turn off the power and pull the power plug from the AC outlet. Failure to observe this may cause electric shocks, a fire, or malfunctions. Immediately request an inspection from the dealer where you purchased the unit or from qualified Yamaha service personnel.

CAUTION

This content indicates “risk of injury.”

Power supply/power cord

- Do not use an AC outlet where the power plug fits loosely when inserted. Failure to observe this may cause a fire, electric shocks, or burns.
- When removing the electric plug from an AC outlet, always hold the plug itself and not the cord. Pulling by the cord can damage it and cause electric shocks or a fire.
- Insert the power plug firmly all the way into the AC outlet. Using the unit when it is not plugged in sufficiently can cause dust to accumulate on the plug, causing a fire or burns.

Installation

- Do not place the unit in an unstable position where it might accidentally drop or fall over and cause injuries.
- When installing this unit:
 - Do not cover it with any cloth.
 - Do not install it on a carpet or rug.
 - Make sure the top surface faces up; do not install on its sides or upside down.
 - Do not use the device in a confined, poorly-ventilated location.

Failure to observe the above may trap heat inside the unit, causing a fire or malfunctions. Ensure that there is adequate space around the unit: at least 5 cm (2 in) on top, 5 cm (2 in) on the sides, and 5 cm (2 in) on the rear.

- Do not install the unit in places where it may come into contact with corrosive gases or salt air or places that have excessive smoke or steam. Doing so may result in malfunction.
- Before moving this unit, be sure to turn off the power switch and disconnect all connection cables. Failure to observe this may damage the cables or cause you to trip and fall.

Hearing loss

- Do not use the unit for a long period of time at a high or uncomfortable volume level, since this can cause permanent hearing loss. If you experience any hearing loss or ringing in the ears, consult a physician.
- Before connecting the unit to other devices, turn off the power for all devices. Also, before turning the power of all devices on or off, make sure that all volume levels are set to the minimum. Failing to do so may result in hearing loss, electric shock, or device damage.
- When turning on the AC power in your audio system, always turn on the amplifier or receiver LAST, to avoid hearing loss and speaker damage. When turning the power off, the amplifier or receiver should be turned off FIRST for the same reason. Failure to observe the above may cause hearing impairment or speaker damage.

Maintenance

- Remove the power plug from the AC outlet before cleaning the unit. Failure to observe this may cause electric shocks.

Handling caution

- Do not do the following:
 - stand on or sit on the equipment.
 - put heavy items on top of the equipment.
 - place the equipment in a stack.
 - apply unreasonable force to buttons, switches, input/output terminals, etc.
- Avoid pulling the connected cables to prevent injuries or damage to the unit by causing it to fall.
- Do not operate the unit if the sound is distorting. Prolonged use in this condition could cause overheating and result in fire.

Notice

Indicates points that you must observe in order to prevent product failure, damage or malfunction and data loss.

Power supply/power cord

- If not using the unit for a long period of time, be sure to pull the power plug from the outlet. Even if the ⏻ (Standby/On) switch has been turned off (the power light is off), a minute current is still flowing.

Installation

- Do not use this unit in the vicinity of other electronic equipment, such as a radio, or mobile phone. Failure to observe this may cause this unit or the radio to produce noise.
- Do not use this unit in a location that is exposed to direct sunlight that becomes extremely hot, such as near a heater, or extremely cold, or that is subject to excessive dust or vibration. Failure to observe this may cause the unit's panel to become deformed, the internal components to malfunction, or for operation to become unstable.
- Install this unit as far away from other electronic equipment as possible to prevent digital signals from this unit interfering with other electronic equipment.
- If the wireless function will be used, avoid installing this unit near metal walls or desks, microwave ovens, or other wireless network device. Obstructions could reduce transmission distance.
- Do not place magnetically sensitive items (watches, credit or ATM cards, etc.) near the unit.

Connections

- If connecting external units, be sure to thoroughly read the manual for each unit and connect them in accordance with the instructions. Failure to properly handle a unit in accordance with the instructions could cause malfunctions.

- Do not connect this unit to industrial units.
Digital audio interface standards for consumer use and industrial use are different. This unit has been designed to connect to a consumer-use digital audio interface. Connections to an industrial-use digital audio interface could not only cause this unit to malfunction, but could also damage the speakers.

Handling

- Do not place vinyl, plastic, or rubber products on this unit. Failure to observe this may cause discoloration or deformation in the panel of this unit.
- If the ambient temperature changes drastically (such as during unit transportation or under rapid heating or cooling) and there is a chance condensation may have formed in the unit, leave the unit for several hours without turning on the power until it is completely dry before use. Using the unit while there is condensation can cause malfunctions.

Maintenance

- When cleaning the unit, use a dry, soft cloth. Using chemicals such as benzine or thinner, cleaning agents, or chemical scrubbing cloths can cause discoloration or deformation.

Information

About content in this manual

- The illustrations and screens in this manual are for instructional purposes only.
- The company names and product names in this manual are the trademarks or registered trademarks of their respective companies.
- Software may be revised and updated without prior notice.

The model number, serial number, power requirements, etc., may be found on or near the name plate, which is at the bottom of the unit. You should note this serial number in the space provided below and retain this manual as a permanent record of your purchase to aid identification in the event of theft.

Model No.

Serial No.

(bottom_en_01)

注意事项

请在使用前，仔细阅读下述内容。请务必按照这些指示操作。

下列注意事项能够防止给用户和其他事物造成伤害的风险以及防止财产损失，并为用户合理、安全地使用本产品提供帮助。请务必按照这些指示操作。

阅读完本手册后，请将本手册放置在安全的位置以便您日后参考。

- 请务必向您购买本产品的经销商或具有资质的Yamaha服务人员要求检测或维修。
- 对由于不正当使用或擅自改造本产品所造成的人身伤害和产品损坏，Yamaha不负任何责任。
- 本产品适用于普通家庭。请勿用于需要高可靠性的应用，例如管理生命、医疗保健或高价值资产。



本内容表示“有重伤或死亡的风险”。

电源/电源线

- 请勿进行任何会伤害电源线的操作。
 - 请勿将电源线放置在取暖器附近。
 - 请勿将电源线过度弯曲或改变形状。
 - 请勿刮擦电源线。
 - 请勿将电源线放置在重物之下。将电源线芯线暴露在外使用，可能造成触电或火灾。
- 当可能发生闪电时，请勿触摸电源插头或电线。否则可能造成触电。
- 使用电源电压印制其上的产品。未连接适当AC插座可能造成火灾、触电或故障。
- 请务必使用附带的电源线。另外，请勿使用其他设备的电源线。否则可能造成火灾、烧伤或故障。
- 定期检查电插头，擦除插头上积起来的脏物或灰尘。否则可能造成火灾或触电。
- 设置本产品时，请确认要使用的AC插座伸手可及。如果发生问题或者故障，请立即断开电源开关并从AC插座中拔下插头。即使电源已经关闭，只要电源线未从AC插座上拔除，本产品就不会从电源上真正断开。
- 如果听到雷声或怀疑闪电接近，请快速关闭电源开关并将插头从AC插座上拔下。否则可能造成火灾或故障。
- 如果长时间不使用本产品，请务必将插头从AC插座上拔下。否则可能造成火灾或故障。

请勿拆卸

- 请勿拆卸或改装本产品。否则可能造成火灾、触电、受伤或故障。如果您发现任何不恰当的操作，请务必向您购买本产品的经销商或具有资质的Yamaha服务人员要求检测或维修。

防水警告

- 请勿让本产品淋雨或在水附近及潮湿环境中使用，或将盛有液体的容器（如花瓶、水瓶或玻璃杯）放在其上，否则可能会导致液体溅入任何开口或可能掉落水的位置。液体，如水等进入本产品，可能造成火灾、触电或故障。如果任何液体如水渗入本设备，请立即切断电源并从AC电源插座拔下电源线。然后，请您购买本产品的经销商或具有资质的Yamaha服务人员要求检测产品。
- 切勿用湿手插拔电源线插头。请勿使用湿手搬运本产品。否则可能造成触电或故障。

防火警告

- 请勿让任何燃烧物或明火靠近本产品，否则可能造成火灾。

保养与维护

- 请勿使用含有易燃气体的喷雾器或喷雾状化学品进行清洁或润滑。残留的易燃气体会造成爆炸或火灾。

无线设备

- 请勿在医疗设备附近或医疗设施内使用本产品。本产品的无线电波可能影响电子医疗设备。
- 请勿在装有心脏起搏器或除颤器的人员的15厘米范围内使用本产品。本产品的无线电波可能影响如心脏起搏器或除颤器的电子医疗设备。

当意识到任何异常情况时

- 当出现以下任何一种异常时，请立即关闭电源并断开电源插头。
 - 电源线/插头损坏。
 - 本产品发出异味或烟雾。
 - 异物进入本产品。
 - 使用过程中声音中断。
 - 产品出现裂缝或损坏。继续使用可能造成触电、火灾或故障。请立即向您购买本产品的经销商或具有资质的Yamaha服务人员要求检测或维修。
- 请注意不要使本产品掉落或对其施加重力。如果怀疑因掉落等情况对本产品造成损坏，请立即关闭电源并将插头从AC插座上拔下。否则可能造成触电、火灾或故障。请立即向您购买本产品的经销商或具有资质的Yamaha服务人员要求检测。



本内容表示“有受伤的风险”。

电源/电源线

- 请勿使用与电源插头相比较松的AC插座。否则可能造成火灾、触电或烧伤。
- 当从AC插座中拔出电源线插头时，请务必抓住插头而非电源线。若拉扯电源线可能导致损坏并造成触电或火灾。
- 请始终将电源插头牢固地插入AC插座中。在插头未充分插入插座的情况下使用本产品将会使得灰尘积聚在插头上，造成火灾或烧伤。

安装

- 请勿将本产品放在不稳定的地方，否则可能导致突然掉落或翻倒并造成人身伤害。
- 当安装本产品时：
 - 请勿用布遮盖。
 - 请勿在地毯上安装。
 - 确保顶部面板朝上，请勿侧放或倒放安装。
 - 请勿在狭小、通风不良的地点使用设备。否则可能会积聚热量，造成火灾或故障。请确保产品附近有充足的空间：距离顶部至少 5 厘米，距离侧面至少 5 厘米，距离背面至少 5 厘米。
- 请勿将产品安装在可能接触腐蚀性气体或含盐份空气或有过多烟雾或蒸汽的地方。否则可能导致故障。
- 移动本产品前，请务必关闭电源开关和断开所有连接线。否则可能损坏线缆或造成您绊倒和跌倒。

听力损伤

- 请勿长时间持续在很高或不舒服的音量水平使用本产品，否则可能会造成永久性听力损害。若发生任何听力损害或耳鸣，请尽快就医。
- 将本产品连接到其它设备之前，请关闭所有设备的电源开关。打开或关闭所有设备电源之前，确保将所有设备的音量调节到最小。否则可能造成听力损伤、触电或设备受损。
- 打开音频系统的交流电源时，请始终最后打开放大器或接收器，以避免听力损伤及损坏音箱。同样，关闭电源时，请首先关闭放大器或接收器。否则可能造成听力损伤或音箱受损。

维护保养

- 清洁产品之前，请从AC插座拔出电源插头。否则可能造成触电。

小心操作

- 请勿执行以下操作：
 - 站于或坐于设备上。
 - 将重物置于设备顶上。
 - 堆放设备。
 - 对按钮、开关、输入/输出端子等施加不合理外力。
- 避免拉拽已连接的线缆以保护人员因产品掉落而受伤或产品损坏。
- 若声音失真，请关闭本设备。在这种状态下长时间使用可能会导致过热或火灾。

须知

表示为防止产品失效、损坏或故障以及数据丢失必须遵守的要点。

电源/电源线

- 如果长时间不使用本产品，请务必将插头从电源插座上拔下。即便⓪（待机/开启）开关关闭（电源指示灯关闭），也依然会有微电流流动。

安装

- 请勿在其他电子产品附近使用本产品，如收音机或手机。否则可能会使本产品或收音机产生噪声。
- 请勿在阳光直射的地方使用本产品，例如在加热器附近会使产品变得非常热，或是变得非常冷，或使产品受到过多的灰尘或震动。否则会造成产品面板变形，内部元件故障，或使操作变得不稳定。
- 安装本设备时尽量远离其他电子设备，以防止本设备的数字信号干扰其他电子设备。
- 如果使用无线功能，请避免将本产品安装在金属墙或桌面、微波炉或其它无线网络设备附近。障碍物可能会缩短传输距离。
- 请勿将磁感物品（手表、信用卡或提款卡等）放置在靠近本机的位置。

连接

- 如果连接外部产品，请务必彻底阅读每个产品的使用说明书，并按照指示进行连接。
如果没有根据指示正确地操作产品将造成故障。

- 请勿将本产品连接至工业产品。
个人使用和工业使用的产品的数字音频接口标准有所不同。本产品为用于连接个人使用数字音频接口的设计。连接工业用途的数字音频接口可能对本产品造成故障，并对扬声器造成损坏。

操作处理

- 请勿将乙烯、塑料或橡胶物品放在本产品上。否则可能会造成本产品面板的变色或变形。
- 如果环境温度变化剧烈（如在产品运输过程中或快速加热或冷却），产品内部可能发生冷凝，请将本产品保持电源关闭状态数小时，直至完全干燥后再使用。发生冷凝时使用本产品会造成故障。

维护保养

- 清洁设备时，请使用柔软的干布。使用汽油或稀释剂、清洗剂、化学洗涤布等化学药品会造成变色或变形。

信息

关于本手册中的内容

- 本书中出现的插图和画面仅供说明用途。
- 本使用说明书中所使用的公司名和产品名都是各自公司的商标或注册商标。
- 软件如有变更和升级，恕不另行通知。



此标识适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。
标识中间的数字为环保使用期限的年数。

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
电路板	×	○	○	○	○	○
外壳箱体	×	○	○	○	○	○
扬声器单元	×	○	○	○	○	○

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。

保护环境

如果需要废弃设备时，请与本地相关机构联系，获取正确的废弃方法。

请勿将设备随意丢弃或作为生活垃圾处理。

2.4GHz

- 使用频率：2.4 - 2.4835 GHz
 - 等效全向辐射功率 (EIRP):
天线增益 < 10dBi 时：≤ 100 mW 或 ≤ 20 dBm
 - 最大功率谱密度：
天线增益 < 10dBi 时：≤ 10 dBm / MHz (EIRP) (Wi-Fi)
天线增益 < 10dBi 时：≤ 20 dBm / MHz (EIRP) (Bluetooth)
 - 载频容限：20 ppm
 - 带外发射功率 (在 2.4-2.4835GHz 频段以外) ≤ -80 dBm / Hz (EIRP)
 - 杂散发射 (辐射) 功率 (对应载波 ±2.5 倍信道带宽以外):
≤ -36 dBm / 100 kHz (30 - 1000 MHz)
≤ -33 dBm / 100 kHz (2.4 - 2.4835 GHz)
≤ -40 dBm / 1 MHz (3.4 - 3.53 GHz)
≤ -40 dBm / 1 MHz (5.725 - 5.85 GHz)
≤ -30 dBm / 1 MHz (其它 1 - 12.75 GHz)
- 不得擅自更改发射频率、加大发射功率 (包括额外加装射频功率放大器)，不得擅自外接天线或改用其它发射天线；
- 使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；一旦发现有害干扰现象时，应立即停止使用，并采取相应措施消除干扰后方可继续使用；
- 使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰；
- 不得在飞机和机场附近使用。
- 该模块通过型号核准并不代表嵌入或使用该模块的最终设备符合相关无线电管理技术规定或标准，最终设备厂商须对产品的技术特性是否符合无线电管理技术规定或标准负责。

5GHz

1. - 工作频率范围：5150 - 5350 MHz
 - 等效全向辐射功率 (EIRP): $\leq 200\text{mW}$
 - 最大功率谱密度: $\leq 10\text{ dBm / MHz}$
 - 载频容限: 20 ppm
 - 带外发射功率 (EIRP): $\leq -80\text{ dBm / Hz}$
 - 杂散发射 (辐射) 功率:
 - $\leq -36\text{ dBm / 100 kHz}$ (30 - 1000 MHz)
 - $\leq -54\text{ dBm / 100 kHz}$ (48.5 - 72.5MHz, 76-118MHz, 167-223MHz, 470-798MHz)
 - $\leq -40\text{ dBm / 1 MHz}$ (2400 - 2483.5 MHz)
 - $\leq -33\text{ dBm / 100 KHz}$ (5150 - 5350 MHz)
 - $\leq -40\text{ dBm / 1MHz}$ (5470 - 5850 MHz)
 - $\leq -30\text{ dBm / 1 MHz}$ (其它 1 - 40 GHz)
2. 不得擅自更改发射频率、加大发射功率 (包括额外加装射频功率放大器), 不得擅自外接天线或改用其它发射天线;
3. 使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰; 一旦发现有害干扰现象时, 应立即停止使用, 并采取消除措施后方可继续使用;
4. 使用微功率无线电设备, 必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰;
5. 该模块通过型号核准并不代表嵌入或使用该模块的最终设备符合相关无线电管理技术规定或标准, 最终设备厂商须对产品的技术特性是否符合无线电管理技术规定或标准负责。

5GHz

1. - 工作频率范围：5725 - 5850 MHz
 - 发射功率: $\leq 500\text{ mW}$ 和 $\leq 27\text{ dBm}$
 - 等效全向辐射功率 (EIRP): $\leq 2\text{ W}$ 和 $\leq 33\text{ dBm}$
 - 最大功率谱密度:
 - $\leq 13\text{ dBm / MHz}$ 和 $\leq 19\text{ dBm / MHz}$ (EIRP)
 - 载频容限: 20 ppm
 - 带外发射功率 (EIRP): $\leq -80\text{ dBm / Hz}$ ($\leq 5725\text{MHz}$ 或 $\geq 5850\text{MHz}$)
 - 杂散发射 (辐射) 功率:
 - $\leq -36\text{ dBm / 100 kHz}$ (30 - 1000 MHz)
 - $\leq -40\text{ dBm / 1 MHz}$ (2400 - 2483.5 MHz)
 - $\leq -40\text{ dBm / 1 MHz}$ (3400 - 3530 MHz)
 - $\leq -33\text{ dBm / 100 kHz}$ (5725 - 5850 MHz)
 - (注: 对应载波 2.5 倍信道带宽以外)
 - $\leq -30\text{ dBm / 1 MHz}$ (其它 1 - 40 GHz)
2. 不得擅自更改发射频率、加大发射功率 (包括额外加装射频功率放大器), 不得擅自外接天线或改用其它发射天线;
3. 使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰; 一旦发现有害干扰现象时, 应立即停止使用, 并采取消除措施后方可继续使用;
4. 使用微功率无线电设备, 必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰;
5. 不得在飞机和机场附近使用。
6. 该模块通过型号核准并不代表嵌入或使用该模块的最终设备符合相关无线电管理技术规定或标准, 最终设备厂商须对产品的技术特性是否符合无线电管理技术规定或标准负责。

为便于您理解使用说明书的内容, 本公司已经依据国家的相关标准尽可能的将其中的英文表述部分翻译成中文。但是, 由于专业性、通用性及特殊性, 仍有部分内容仅以原文形式予以记载。

本产品的型号、序列号、电源要求等规格可能标在铭牌上或铭牌附近，铭牌位于本机底部。请将该序列号填写到下方的横线上，并妥善保存本说明书，以便在产品被盗时作为永久购买凭证使用。

型号名称

序列号

(bottom_zh_01)

주의사항

사용 전에 반드시 읽어 주십시오. 다음 지침을 준수해 주십시오.

아래 수록된 주의사항은 사용자와 다른 사람들에게 발생할 수 있는 위험과 재산 피해를 방지하고 사용자가 본 기기를 안전하고 올바르게 사용할 수 있도록 돕기 위한 것이므로 다음 지침을 반드시 준수해야 합니다. 이 설명서를 읽은 후엔 언제든지 살펴볼 수 있는 안전한 장소에 보관해야 합니다.

- 본 기기 구입처나 Yamaha 공식 AS 센터에 검사 또는 수리를 요청해야 합니다.
- Yamaha는 부적절하게 기기를 사용하거나 개조하여 발생한 사용자의 부상 또는 제품의 손상에 대해 책임지지 않습니다.
- 본 제품은 일반적인 가정용입니다. 생명이나 보건, 고부가가치 자산을 관리하는 등 높은 신뢰성이 필요한 용도로 사용하지 마십시오.

경고

이 사항은 “중상 또는 사망의 위험”을 의미합니다.

전원/전원 코드

- 전원 코드를 손상시킬 수 있는 어떤 행동도 실시하지 마십시오.
 - 히터 주변에 두지 마십시오.
 - 과도하게 구부리거나 개조하지 마십시오.
 - 흠집을 내지 마십시오.
 - 무거운 물체 아래에 두지 마십시오.코드의 코어가 노출된 전원 코드를 사용하면 감전되거나 화재가 발생할 수 있습니다.
- 번개가 칠 가능성이 있는 경우에는 전원 플러그나 코드를 만지지 마십시오. 이를 준수하지 않을 경우 감전될 수 있습니다.
- 표면에 전원 전압이 인쇄되어 있는 본 기기를 사용하십시오. 적절한 AC 콘센트에 연결하지 않으면 감전되거나 화재 또는 오작동이 발생할 수 있습니다.
- 공급된 전원 코드를 사용해야 합니다. 또한 공급된 전원 코드를 다른 기기에 사용해도 안 됩니다. 위의 사항을 준수하지 않을 경우 화상을 입거나 화재 또는 오작동이 발생할 수 있습니다.
- 전원 플러그를 정기적으로 점검하고, 오물이나 먼지가 쌓인 경우에는 이를 제거하십시오. 이를 준수하지 않을 경우 화재가 발생하거나 감전될 수 있습니다.
- 본 기기를 설치할 때 AC 콘센트가 가까이 있는지 확인하십시오. 고장 또는 오작동이 발생할 경우 즉시 전원 스위치를 끄고 AC 콘센트에서 플러그를 뽑으십시오. 전원 스위치가 꺼져 있더라도 벽면 AC 콘센트에서 전원 코드를 뽑지 않았다면 전원이 차단된 것이 아닙니다.
- 천둥 소리가 들리거나 곧 번개가 칠 것으로 의심되면 신속하게 전원 스위치를 끄고 AC 콘센트에서 전원 플러그를 뽑으십시오. 이를 준수하지 않을 경우 화재 또는 오작동이 발생할 수 있습니다.
- 본 기기를 장기간 사용하지 않을 경우 콘센트에서 전원 플러그를 뽑아야 합니다. 이를 준수하지 않을 경우 화재 또는 오작동이 발생할 수 있습니다.

분해 금지

- 본 기기를 분해하거나 개조하지 마십시오. 이를 준수하지 않을 경우 화재, 감전, 부상 또는 오작동을 유발할 수 있습니다. 이상 징후가 발견되면 본 기기 구입처나 Yamaha 공식 AS 센터에 검사 또는 수리를 요청해야 합니다.

침수 경고

- 비에 젖지 않도록 하고, 물 또는 습기가 많은 장소에서 사용하거나 담겨 있는 액체가 입구 등의 부위로 쏟아질 우려가 있는 용기(예: 화병, 병 또는 유리컵)를 본 기기에 올려놓지 않도록 하십시오. 물과 같은 액체가 기기 안으로 스며들면 화재 또는 오작동이 발생하거나 감전될 수 있습니다. 물과 같은 액체가 기기 안으로 스며 들어가는 경우, 즉시 전원을 끄고 AC 콘센트에서 전원 코드를 뽑아 다음 본 기기 구입처나 Yamaha 공식 AS 센터에 검사를 요청하십시오.
- 절대로 젖은 손으로 플러그를 꽂거나 빼지 마십시오. 젖은 손으로 본 기기를 취급하지 마십시오. 이를 준수하지 않을 경우 감전되거나 오작동이 발생할 수 있습니다.

화재 경고

- 기기 근처에 연소성 물품이나 불꽃을 놓지 마십시오. 화재가 발생할 수 있습니다.

유지보수 및 관리

- 가연성 기체가 들어 있는 에어로졸이나 분무형 화학약품을 청소나 유틀에 사용하지 마십시오. 가연성 기체가 기기 안에 남아 폭발이나 화재가 발생할 수 있습니다.

무선 기기

- 본 기기를 의료 장치 근처나 의료 시설 내에서 사용하지 마십시오. 본 기기에서 방출되는 무선파는 전자 의료기기에 영향을 미칠 수 있습니다.
- 심박조율기 또는 제세동기를 이식한 사람이 있을 경우 15cm 이내에서는 본 기기를 사용하지 마십시오. 본 기기에서 방출되는 무선파는 이식용 심박조율기 또는 제세동기와 같은 전자 의료기기에 영향을 미칠 수 있습니다.

이상 징후 발견 시

- 다음 이상 징후 중 하나라도 발생하는 경우 즉시 전원을 끄고 전원 플러그를 분리하십시오.
 - 전원 코드/플러그가 손상된 경우
 - 기기에서 이상한 냄새가 나거나 연기가 배출되는 경우
 - 기기 내부로 이물질이 들어간 경우
 - 사용 중 음향이 상실된 경우
 - 기기에 균열 또는 손상이 있는 경우계속 사용할 경우 감전되거나 화재 또는 오작동이 발생할 수 있습니다. 즉시 본 기기 구입처나 Yamaha 공식 AS 센터에 검사 또는 수리를 요청하십시오.
- 본 기기를 떨어뜨리거나 강한 충격을 주지 않도록 주의하십시오. 떨어뜨리거나 충격을 받아 기기가 손상된 것으로 의심되면 즉시 전원을 끄고 AC 콘센트에서 전원 플러그를 뽑으십시오. 이를 준수하지 않을 경우 감전되거나 화재 또는 오작동이 발생할 수 있습니다. 즉시 본 기기 구입처나 Yamaha 공식 AS 센터에 검사를 요청하십시오.

주의

이 사항은 “부상의 위험”을 의미합니다.

전원/전원 코드

- 연결할 때 전원 플러그가 헐겁게 꽂히는 AC 콘센트는 사용하지 마십시오. 이를 준수하지 않을 경우 화재가 발생하거나 감전 또는 화상을 입을 수 있습니다.
- AC 콘센트에서 전원 플러그를 뽑을 때에는 반드시 코드가 아닌 플러그 부분을 잡으십시오. 코드를 잡고 뽑으면 코드가 손상되어 감전되거나 화재가 발생할 수 있습니다.
- AC 콘센트로 끝까지 전원 플러그를 확실하게 연결하십시오. 충분히 연결되지 않은 상태로 기기를 사용하면 플러그에 쌓인 먼지로 인해 화재가 발생하거나 화상을 입을 수 있습니다.

설치

- 불안정한 장소에는 본 기기를 설치하지 마십시오. 뜻하지 않게 기기가 떨어지거나 넘어져 부상을 입을 수 있습니다.
- 본 기기를 설치할 때:
 - 천으로 덮지 마십시오.
 - 카펫이나 양탄자 위에 설치하지 마십시오.
 - 상단면이 위쪽을 향하도록 하십시오. 측면으로 설치하거나 거꾸로 설치하지 마십시오.
 - 좁고 사방이 막혀 있으며 잘 환기되지 않는 장소에서 기기를 사용하지 마십시오.위의 사항을 준수하지 않을 경우 열이 기기 안에 갇혀 화재 또는 오작동이 발생할 수 있습니다. 기기 주변 공간이 충분한지 확인하십시오. 상단, 측면 및 후면에 각각 최소한 5cm의 공간을 둡니다.
- 부식성 가스나 염기와 접촉할 수 있는 장소, 또는 과도한 연기나 증기가 있는 장소에 기기를 설치하지 마십시오. 오작동이 발생할 수 있습니다.
- 본 기기를 옮기기 전에 반드시 전원 스위치를 끄고 모든 연결 케이블을 분리하십시오. 이를 준수하지 않을 경우 케이블이 손상되거나 케이블에 걸려 넘어질 수 있습니다.

청력 손실

- 음량이 크게 하거나 귀에 거슬리는 수준의 음량으로 장시간 기기를 사용하지 마십시오. 영구적인 청력 손실이 발생할 수 있습니다. 청력 손실이 나타나거나 귀 울림현상이 발생하는 경우에는 이비인후과 전문의의 진찰을 받으십시오.
- 본 기기를 다른 장치에 연결할 때는 먼저 모든 장치의 전원을 끄십시오. 또한, 전원을 켜고 고기 전에는 음량을 최소로 낮추십시오. 그렇지 않으면 청력 손실, 감전 또는 기기 손상의 문제가 발생할 수 있습니다.
- 오디오 시스템의 AC 전원을 켤 때는 청력 손실 및 스피커 손상 문제가 발생하지 않도록 앰프 또는 리시버를 항상 제일 마지막에 켜십시오. 이와 마찬가지로 전원을 끌 때는 앰프 또는 리시버를 제일 먼저 꺼야 합니다. 위의 사항을 준수하지 않을 경우 청력 장애가 발생하거나 스피커가 손상될 수 있습니다.

유지보수

- 기기를 세척하기 전에 AC 콘센트에서 전원 플러그를 뽑으십시오. 이를 준수하지 않을 경우 감전될 수 있습니다.

취급상 주의

- 다음 행위를 삼가하십시오.
 - 장비 위에 올라서거나 앉는 행위
 - 장비 위에 무거운 물건을 올려두는 행위
 - 장비를 스택에 넣는 행위
 - 버튼, 스위치, 입/출력 단자 등에 무리하게 힘을 가하는 행위
- 기기가 떨어져 부상을 입거나 기기가 손상될 수 있으므로 연결된 케이블을 당기지 마십시오.
- 음향이 왜곡되는 경우 기기를 작동하지 마십시오. 이와 같은 상태로 오랫동안 사용할 경우 과열되어 화재가 발생할 수 있습니다.

주의사항

제품 고장, 손상, 오작동 및 데이터 손실을 방지하기 위해 준수해야 하는 사항을 나타냅니다.

전원/전원 코드

- 본 기기를 장기간 사용하지 않을 경우 콘센트에서 전원 플러그를 뽑아야 합니다. ⊕ (대기/켜짐) 스위치를 끈(전원등 꺼짐) 경우에도 미량의 전류가 여전히 흐르고 있습니다.

설치

- 라디오 또는 휴대전화와 같은 다른 전자장치 주변에서 본 기기를 사용하지 마십시오. 이를 준수하지 않을 경우 본 기기 또는 라디오에서 소음이 발생할 수 있습니다.
- 직사광선에 노출된 장소, 히터 근처와 같이 매우 뜨거운 장소나 매우 차가운 장소 또는 과도하게 먼지가 쌓이거나 진동이 발생할 수 있는 장소에서는 본 기기를 사용하지 마십시오. 이를 준수하지 않을 경우 기기의 패널이 변형되고 내부 구성부품이 오작동을 일으키거나 작동 상태가 불안정해질 수 있습니다.
- 본 기기의 디지털 신호가 다른 전자장치에 지장을 주지 않도록 최대한 다른 전자장치로부터 멀리 본 기기를 설치하십시오.
- 무선 기능을 사용하는 경우 금속 벽이나 책상, 전자기선 또는 다른 무선 네트워크 장치 근처에 본 기기를 설치하지 마십시오. 장애물로 인해 전송 거리가 줄어들 수 있습니다.
- 자성에 민감한 물품(시계, 신용카드 또는 ATM 카드 등)을 기기에 가까이 놓지 마십시오.

연결

- 외부 기기를 연결하는 경우 각 기기에 대한 설명서를 숙지하고 해당 지침에 따라 연결해야 합니다. 지침에 따라 기기를 올바르게 취급하지 않을 경우 오작동 문제가 발생할 수 있습니다.

- 산업 기기에는 본 기기를 연결하지 마십시오. 소비자용 및 산업용 디지털 오디오 간섭 표준은 서로 다릅니다. 본 기기는 소비자용 디지털 오디오 인터페이스에 연결하도록 설계되었습니다. 산업용 디지털 오디오 인터페이스에 연결하면 본 기기의 오작동은 물론 스피커도 손상될 수 있습니다.

취급

- 본 기기에 비닐, 플라스틱 또는 고무 제품을 올려놓지 마십시오. 이를 준수하지 않을 경우 본 기기의 패널이 변색되거나 변형될 수 있습니다.
- (기기 운송 중이나 급속 가열 또는 냉각 시와 같이) 외부 온도가 크게 변해 기기 안에서 물방울이 맺힐 수 있는 경우 전원을 켜지 않은 상태로 기기를 몇 시간 동안 그대로 두어 완전히 말린 후 사용해 주십시오. 물방울이 맺힌 상태에서 기기를 사용하면 오작동 문제가 발생할 수 있습니다.

유지보수

- 기기를 닦을 때는 부드럽고 마른 천을 사용하십시오. 벤진 또는 시너와 같은 화학약품, 세정제 또는 화학성 세척용 천을 사용하면 변색 또는 변형될 수 있습니다.

정보

본 사용설명서에 수록된 내용 관련 정보

- 본 사용설명서에 수록된 그림 및 화면은 설명 용도로만 사용됩니다.
- 본 사용설명서에 기재된 회사명과 제품명은 각 회사의 상표 또는 등록 상표입니다.
- 소프트웨어는 사전 예고 없이 수정 및 업데이트할 수 있습니다.

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

본 기기는 통상 이용 상태의 경우 인체 (머리, 몸통)와 20cm 초과하는 거리에서 사용되어야 합니다.

본 제품의 모델 번호, 일련 번호, 전원 규격 등은 기기 밑면에 있는 명판이나 명판 주위에서 확인할 수 있습니다. 도난 시 확인할 수 있도록 일련 번호를 아래 공란에 기입하고 본 사용설명서를 구매 기록으로 영구 보관해야 합니다.

모델 번호

일련 번호

(bottom_ko_01)

雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

上海市静安区新闸路1818号云和大厦2楼

客户服务热线：4000517700

公司网址：<http://www.yamaha.com.cn>

制造商：雅马哈株式会社

制造商地址：日本静冈县滨松市中央区中泽町10-1

进口商：雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司

进口商地址：上海市静安区新闸路1818号云和大厦2楼

原产地：中国

YAMAHA CORPORATION

10-1 Nakazawa-cho, Chuo-ku, Hamamatsu, 430-8650 Japan

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町10-1

Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

© 2018 Yamaha Corporation

Published 08/2024 发行 KSES-F0

VHX2610